

明るく元気の出る町

平成17年3月1日発行・毎月1回 編集・発行/秋田県東由利町企画課

広報

# ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2005

3

NO.600



町イメージ  
キャラクター  
『ほろ太くん』

雪と光の  
ファンタジー  
～雪ものがたりNO.000～

# 子牛価格は依然高値で推移

町議会三月定例会が二月二十一日から二十三日までの会期で開かれ、平成十六年度一般会計補正予算を含む十四議案を原案どおり可決しました。

## 行政報告（一部抜粋）

### 【町民福祉課】 消防出初め式

一月四日、げんき館で開催。

### 雪害警戒対策部設置

二月三日に設置（当日の積雪量は一三十四）。今のところ被害報告はなし。引き続き注意を呼びかけ、警戒を続けたい。（二月二十一日午後三時三十分に雪害対策本部を設置）

### 【特別養護老人ホーム東光苑】

施設の入退所者数は、二月十九日現在で十六人。ショートステイの延べ利用者数は、一月末現在で三千七百九十人、十二月十日の増床分開所後の利用率は十六・三人。デイサービスの延べ利用者数は、同じく一月末



行政報告をする阿部幸悦町長

### 【総務課】

#### 長谷山稔氏が逝去

町功労者で元東京東由利会会長の長谷山稔氏が昨年十二月十四日に逝去された。

#### 人事異動

二月二十一日に由利本荘市

## 可決された議案

秋田県町村土地開発公社からの脱退についての専決処分

一市七町を廃し、その区域をもって由利本荘市が設置されることに伴い秋田県町村土地開発公社を脱退することについて専決処分にしたもの。

### 一般会計補正予算

一千七百七十四万一千円を追加し、予算総額を四十四億一千十三万二千円としたもの。歳出予算の主な内容は、財政調整基金への積立二千万円、株式会社社黄桜の里への出資金二千万円。

### 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

保険給付費の精算見込みにより、六万五千円を追加し、予算総額を五億三千四百三十八万八千円としたもの。

### 老人保健医療事業特別会計補正予算

医療給付費などの精算見込みにより二千四百万円を減額し、予算総額を六億七千五百五十八万七千円としたもの。

### 簡易水道事業特別会計補正予算

水道費の精算見込みにより二百五十一万五千円を減額し、予算総額を二億二千九百八十一万九千円としたもの。

### 農業集落排水事業特別会計補正予算

処理場維持費の精算見込みなどにより七百八十一万円を減額し、予算総額を四億五千五百三十八万四千円としたもの。

### 特別養護老人ホーム東光苑特別会計補正予算

施設・通所サービス事業費などの精算見込みにより八万円を減額し、予算総額を五億五千一百二十九万九千円としたもの。

### 本荘由利一市七町合併協議会の廃止

その設置目的を終えたことから、平成十七年三月二十一日をもって本荘由利一市七町合併協議会を廃止するもの。

### 本荘地区消防事務組合の解散とそれに伴う財産処分

由利本荘市の発足に伴い本荘地区消防事務組合を解散し、財産を由利本荘市に帰属させるもの。

### 集落研修集会施設に関する条例を廃止する条例と財産の無償譲渡について

集落集会施設の管理を集落に移管させるため設置条例を廃止し、無償譲渡するもの。

### 町道の廃止と認定

県道改良や町道改良に伴う起終点の変更のため、廃止と認定を行うもの。廃止されるのは蔵横渡線、西ノ浜線、認定されるのは蔵横渡線、岩館一ノ線、大吹川四号線、西ノ浜線の四路線



老方・館合処理区の一月末の加入率は五九・一八。

### 台併処理浄化槽

十六年度当初の六基、九月議会で補正した四基、計十基の整備が完了。

### 【産業課】

#### 稲作

一月末の総集荷数量は十万一千五百一袋（前年比二・七増）、販売金額は六億八千四百七十五万四千円（前年比三十一・一減）。農家の粗収入は、前年度に比べて約三億円減少し、近年にない大幅な落ち込みになった。

#### 水田農業構造改革対策

本年度の生産面積は七百七十九で、目標面積より約十少ない。生産調整面積の実績は三百五十二・六で、転作の内容は飼料作物百五十三・八、自己保全管理九十八・五、野菜類四十二・二。

これに基づき、十二月に産地づくり交付金四千八百六十九万四千円を実施農家に支払った。

十七年度の本町の生産目標数量は四千四百五十八（前年比二十八増）で、昨年同様の一律配分。二月二十二日のJA集落支部長会議で、農家別

の生産目標数量を仮配分する。

### 台風被害対策

資金対策については、一千五百万円の申込みがあった。

ビニールハウスの支援については、県の補助事業の実績見込みが出たところであり、今議会に精算補正をお願いしている。

### 中山間地域直接支払

今年度の対象面積は九百八十一・六で、前年度より百二十七減少。交付金は急傾斜地が四千七百八十一万六千円（二百二十七・七）、緩傾斜地が六千三十一万三千円（七百五十三・九）で、計一億八千二百九十九万九千円を二月二十八日に各集落協定に振り込んでいく。

今年度で五年間の事業期間が終了。農地や農道、水路などの保全管理のほか、地域の環境形成など多目的機能を果たしたと評価している。十七年度から始まる次期対策は、制度の内容が少し厳しくなるようだが、各集落協定には、今後も前向きに取り組んでほしい。

### 畑作



タラの芽は前年同期2倍の売り上げ

野菜類の一月末までの総販売金額は五千三百五十六万六千円（前年比六・六の減）。アスパラは八百九十五万五千円（前年比七十一・三増）で、販売金額一千万円まであと一歩。タラの芽も前年同期の約二倍、これからの定着・拡大に期待。

葉たばこは、一月十八日、十九日に販売が行われ、販売代金は一億五百七十七万九千九百九十九円（前年比十三・五の減）。

### 家畜

二月の初セリでは、六十三頭が取り引きされ、平均価格は五十二万九千二百三十三円。依然として高価格が続いており、米などの農産物価格が低迷する

中で、唯一明るい材料となっている。

生乳の四月から二月までの販売数量は四百九十九ト、販売金額は四千八百五十六万六千円。

二月一日現在で肉用牛飼養頭数調査を実施。飼養農家数は百四十六戸（前年比八戸の減）、成牛と育成牛の合計は六百八十五頭（前年比十五頭の増）。多頭化による産地基盤の充実が確実に進んでいる。

### 土地改良事業

大台地区簡易給水施設は、十二月二十二日に地元と管理委託契約を行い、本格給水を開始。八塩前平登山道の整備は、延長一千四百六、駐車場百三十六平方の工事を十二月中に完了。十七年度はボツメキのトイレと、ため池までの遊歩道を整備する予定。

六沢のため池整備は、今年度の地質調査は計画どおり進捗。総事業費は四百二十万円。総事業費に対する地元負担（十）については、公益的利用

もあることから、町が九割、受益者が一割で調整を進めている。本工事は十八年度から、完工は二十一年度の見通し。地すべり対策事業については、朴の木沢・沢内・大森・下

吹・松の沢の調査、集水ボーリング等をほぼ完了。今年度の総事業費は一億七千九百万円。

### 林業

森林整備地域活動支援交付金は、対象面積が前年度より十二多い一千六百五十二余り。交付金一千六百五十二万円を二月十八日までに振り込んでいく。

民有林造林事業の実績は、枝打ち四十三・一、間伐百・九。総事業費の八を国県補助に高上げ助成を予定している。作業道開設事業は、伐開六千五百、敷砂利・敷き均しそれぞれ二千二百五十五の実績で、総事業費七百八十一万円に対して三百九十万円の助成を予定。

小倉地区入会林野整備事業については、対象地区四十四・九の調査測量を昨年十一月二十六日まで終了し、入会林整備計画書を二月十日までに完了。十七年中には登記を完了できる見込み。

ふるさと出合いの森事業については、一月二十八日と二月八日、十八日の三回で出資金を返戻し、事業の解消手続きが完了。

# 一般質問（一部抜粋）

小松 勤一郎 議員

問 秋田県市町村交通災害共済、不慮の災害共済等の加入・給付の手続きについて、以前の方法を改め、加入者が役場窓口で手続きをするのは、高齢者や障害者にとって現実的ではないと考えるが。

答 一市七町で同一の取扱いをすることにした。以前と比べると不便だが、郵送も可能。いろいろな方法論を検討し、今後も加入率アップに努めたい。

問 地域自治区の区長、地域協議会委員の選出は、どのように行うのか。人物本位で具合的な作業に取り組むべきでは。

答 地域協議会の構成員は首長が選任するが、地域住民の意見が反映されるよう配慮しなければならぬ。また、区長（常勤特別職）の任命は、地域自治区内の事情を十分把握している人物を市長が任命することが確認されている。

町議会議員の皆さんには、十月までの任期の中で、住民に

とって心配のない組織が作られるよう心配をお願いしたい。

問 在任特例期間後の市議会議員選挙について合併協議会事務局では「大選挙区で実施」と示しているが、本荘市議会や町広報では「小選挙区制もあり得る」としている。選挙について認識が一致していないのはなぜか。

答 第十七回合併協議会で「定数三十人」「選挙区は大選挙区」と確認されており、認識は一致している。「新市の議会で提案がなされれば、議決によっては小選挙区制を取り入れることもあり得る」との認識を示したものである。

小野 健 議員

問 これまで町長が公約してきた政策の実施状況はどうであったか。

答 定住環境の整備や交流人口の拡大など、自分なりの役割を果たせたと考えている。本町のまちづくりは、しっかりと新市に引き継いでいける。

問 政府が実施する「米改革」は、市場原理一辺倒で地域農業が成り立たない。国際協力のため米の輸入はやむを得ないとす

る町長の考えは変わらないか。

答 本町の農業にとっても、米価暴落は心配なこと。しかし日本は貿易立国、国の枠組みの中で地域の農業振興を実施していかなければならないと考えている。

問 合併協議会で、所得制限無し乳幼児医療費の無料化を確認しているが、県議会では有料化を決めようとしている。協議会の決定は、県の方針に関わらず進められるのか。

答 合併協議会では無料化としているが、有料化を打ち出した県の動向と合併後の財政状況を考慮しながら、新市で検討されていくものと考えている。

問 介護保険改正法案は、施設入所者に新たな負担を求め、在宅利用者のサービスを抑制するもの。町長の考えを伺う。

答 介護保険の財政規模が膨張する中で、社会保障全体の見直しであり、年金給付の重複や利用者負担の不均衡を是正するためのもの。ただし、低所得者の負担が過重にならないよう配慮しなければならない。今後の展開を見守りたい。

## 雪害対策本部設置

# 6年ぶりの大雪に警戒



除雪作業に追われる人々（22日・上通）

積雪量一  
七十八  
（二月二十一日午後二時現在）とい  
う大雪に見舞  
われた町では、民  
家や公共建  
造物の損壊  
防止、交通  
の確保など  
住民生活全  
般にわたる  
雪害防止に

対処するため、二月二十一日午後三時三十分、平成十一年以来六年ぶりとなる雪害対策本部を設置しました。

町では本部設置後、防災行政無線やチラシなどを通じ、町民に大雪に対する警戒を呼びかけたほか、町内の高齢者世帯や一人暮らし世帯を巡回。また、二月三日に、雪害警戒対策本部を設置した際に確認した危険箇所を再度巡回し、看板を設置するなどして警戒を続けています。

雪は二十一日未明から降り続き、二十二日午前六時には最高積雪量一 九十一を記録。時期的には降雪も小康状態に向かうものと考えられますが、積雪量が多いため、今後は雪崩や融雪時の異常出水に十分注意が必要となります。対策本部では、今後も万全の対策を推進し、雪害防止に対処していくこととされています。

# 市長職務執行者に三浦西目町長

第二十二回本荘由利一市七町合併協議会が二月二十七日、西目町の町民センター「シーガル」で開催され、西目町の三浦孝郎町長が由利本荘市長職務執行者に選任されたことが報告されました。

新市長が決まるまでの職務 七町市町長会において協議し、執行者の選任については、一市 決定されたものです。市長職務執行者に選任された三浦町長は、「住民の期待の膨らみをしっかりと新市に引き継ぎ、歴史の転換期の重責を果たしたい」とあいさつしました。



西目町の町民センター「シーガル」で開催された第22回合併協議会

合併に当たった協議項目の確認は、第二十二回合併協議会をもって終了しており、今協議会では、合併協議会の中間監査及び新市の組織・機構の変更、協議会の廃止等

について報告が行われました。また、協議会終了後には八首長と協議会委員がそれぞれあいさつ。平成十五年一月の合併協議会発足からこれまでの道のりを振り返りました。

## 「由利本荘市」

### 市長選挙立候補届出説明会

三月二十二日の一市七町合併に伴う由利本荘市長選挙の立候補届け出手続き等について、次により説明会を開きますので、立候補予定者またはその代理人は、ご出席ください。

とき：3月15日（火）

午後1時30分

ところ：本荘市役所4階「正庁」

お問い合わせ：本荘市選挙管理委員会および各町

選挙管理委員会

## 好調なスタート切る

平均価格52万9千円

初セリ



初セリの様子

今年最初の子牛市場が二月九日、本荘市の広域由利家畜市場で行われました。

本町からは、六十三頭が上場され、すべての売買が成立。一頭当たりの平均価格が五十二万九千円と、昨年の初セリより約八万円高い価格で取り引きされました。

また、去勢と雌の平均価格は、それぞれ五十五万四千円と五十七万七千円で、六十三頭のうち最高価格は、去勢の七十万九千円でした。

家畜市場全体の市場頭数は三百七十七頭で、そのうち三百六十七頭の売買が成立。一頭当たりの平均価格は、四十八万九千円となっています。

# 町長日記

## 13年7カ月

### ありがとうございました

町長職として、平成三年八月二十日から四期十二年と七カ月の任期を終わろうとしておりますが、東由利町最後の、また私にとっても最後の「町長日記」となりました。改めてごあいさ

つを申し上げます。初当選以来「明るく元気の出る町・東由利」を標榜して、我が町永遠の課題と心得ます四つの課題を擦り切れるほど申し上げてまいりました。また、町

環境の整備にかかわる四つの課題に加え、交流人口を町の活力にと、その拡大を図るべく努力も致しました。

道の駅関連の整備事業、黄桜の里「湯楽里」「やしお」、地場産業センター「ぶれっそ」、八塩いこいの森「関連の整備事業、そしてまた合併を強く意識しながらの役場新庁舎の整備ができました。

日本がまだバブル期の景気の良いときに、その施策の展開ができました。国には力強く村岡兼造先生がおられましたし、秋田県もまだまだ体力のあるときでしたから、かなりの要望も受け入れていただきました。県庁の担当職の皆さんには、本当にしっかりと我が町を見てもらい、「ご支援頂いたこと改めて感謝を申し上げます」。

また、役場職員の情報収集能力、上部機関への説得力、そして施策の実行力、またこれほどの事業を施行してもびくともしない財政管理能力など、その

優秀さと一生懸命さに改めて敬意を表するものです。東光苑事件など負の部分もありましたが、それを大きなバネにもしてきたことであり、新市「由利本荘市」職員としても自信を持って十分な活躍を願うものであります。

いよいよ新市「由利本荘市」が発足します。一市七町がそれぞれの歴史と文化を持つての合併です。さまざまな協議事項の整理はできたものの、例えば良くなりませんがガラス細工の内容でもあります。これから丁寧にボンド付けをしたり、いろいろスリム化もしていかなければなりません。在任特例期間七カ

月を任された議員さんたちの大きな役割でもあります。「ご活躍に心からエールを送ります。」お世話になりました町民皆様、関係機関各位のこれまでの数々のご支援ご指導に心から感謝を申し上げます。ご活躍の「ご活躍」ご健勝を心から祈念申し上げます。東由利が永遠であることを心から祈っております。十三年七月、長い間お世話になり、楽しく仕事をさせていただきお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

(完)



子どもたちと一緒に給食（平成13年・八塩小）



初登庁（平成3年）



雪ものがたり2004で凧揚げに参加（平成16年）



## 東中生からのメッセージ

# これからも 「明るく元気の出る町」

「ひがしゆり広報レポート」では、これまでさまざまな視点から町の歴史を取り上げ、毎月町民の方々にインタビューをし、町の歴史や合併に対する思いを語っていただきました。しかし、これからを背負って立つ子どもたちは、東由利の歴史や課題、合併をどのように考えているのでしょうか。最終回となる今回は、東由利中学校の生徒たちが昨春秋、東中祭に向けて作成した学級新聞をご紹介します。それぞれの新聞のトップを飾ったのは、こんな内容の記事でした。（一部割愛）

### 3B 東由利町にまつわる エッセー

ジキラクターに由利牛が使われていることから分かること

はじめに 昭和四十九年に東由利町となり、今年でちょうど三十年。三月二十二日には由利本荘市となり、私たちも晴れて「市民」となる。しかし、私たちが生まれ育ったのは東由利町である。由利本荘市になっても、私たちはこのことを誇りにしていきたい。

しかし、私たちは東由利町のことを何も知らない。私たちははぶるさとを心から誇れるように、東由利の三十年間について調べてみた。

### 農業について 町のイメージ

本町は農業が盛んである。昭和五十七年から昭和五十九年に開催された数々の和牛品評会において、本町の牛が数多くの賞を受賞している。このことから本町の牛が畜産農家の努力によって常に高品質を維持し、全国的にも高い水準だということが分かる。また、町になってから五年でライスセンター・低温倉庫が建設され、さらに六年後の昭和五十九年には水稻育苗センター事業に着手するなど、町民が農業に対して常に強い向上心を持ち続けたことが分かる。と

ところが、年々農業者の高齢化が進み、農業は後継者不足という危機に陥っている。しかし、そんなことで簡単に衰退するほど農業は弱いものではないと思いたい。農業の良さをアピールするために講習会を開いたり、教育課程の中でもっと農業を取り上げ、作物を作る大切さを理解させたりして、農業人口を増やし活性化させていってほしい。

### 教育・交通・施設

昭和五十三年にバイパスが開通した五年後に大平スキー場にヒュッテが完成。平成に入ってからには銀河トンネルの完成後に「ぶれっそ」が建設されるなど、交通の便が良くなるにつれてレジャー施設の数も増えていった。また、山地の多い東由利では、各地で道路整備が進められ、さらに道路の補修・拡張は今も行われており、町民の暮らしは少しずつ良くなってきている。暮らしが良くなると人の心は明るく豊かになる。こういった行政の努力は派手さこそないがとて重要



授業のひとつ

り発展し続けてきた町だといえる。  
これから いろいろなることを調べて東由利町のことを少しは理解できた私たちは、この合併をどのように考え、どのように行動していけば良いのだろう。

考え方や問題の受け止め方は一人ひとり違っていても良いと思う。しかし、合併という大イベントを控えている今しかこのようなことを考えるタイミングはない。思う存分考えて、最終的に自分のスタンスを確立し、そして行動を起こせば、この町も私たちも成長していけるのではないかと思う。

### 1A 東由利町の 少子化問題

このように東由利は、少しでも自分たちの暮らしを快適にしようと町民と行政が一体とな

いことだ。今や少子化問題は、小さな子どもだけの問題ではなくなっている。

東由利町は、年々お年寄りが増え続けているのに対して、子どもが減少してきている。また、人口が減るにつれて、世帯数も減ってきている。ということとは、小中学校の児童・生徒も減り続けているということになる。さらに、自らの命を絶つたり、子どもをおろしたりする人たちもいる。生まれてこようとする命を殺してしまつのは、とても悲し

この問題の解決策は無いに等しい。だが、自らの命を絶たず、次の世代へバトンを渡すこと、虐待などをせずに子どもを大切にすることが重要なのだ。保育園を訪問して幼児と触れ合い、幼児をよく知ること、住民の意識が高まり、解決することだろう。これからは、一人ひとりの命を大切に生きていかなければならないと思う。

## 2A 少年高齢化を考える 「危機に近づく東由利！」

皆さんは東由利の未来を考えたことがあるだろうか。今の東由利は、人口約四千八百人余り。そのうち高齢者は、約一千五百四十人。年々若者が減り、高齢者ばかりが増えてきている。若者は、本荘市や秋田市に移動していく。若者にはあと何カ月かで由利本荘市となるこの東由利町で、たくさん時間を過ごしてほしいと思う。

東由利町は、由利郡内で最も人口が少ない。二〇〇〇年には、五千百十一人いた人口が、二〇〇一年には五千四十九人。二〇〇四年には四千七百七十二人と五千人を切った。年々減ってきている人口の中で、子どもは減り、高齢者の割合が増えてきている。東由利で働く人たちも少なくなってきたと思う。



これからを担う子どもたち

しかし、人口が少ないからといって、そう不便ではない。町の人たちも積極的に町おこしをしたり、いろいろなイベントを開いたりして東由利に人を呼んでいる。そういう大人の呼びかけに若者も動いてほしい。もし、若者が大人の呼びかけに応えてくれるなら、少年高齢化の問題も少しは解決策が見えてくる。六十歳くらいのお年寄りが行ってきた奉仕作業などを、若者が積極的に引き継ぐことでお年寄りを楽にさせ、東由利を大切にしていけたら良いと思う。今の私たちは力不足で大きく動かせることはできないが、今の大人について行き、より良い東由利を目指したい。他の地域から来た人たちに東由利のスローガン「明るく元気の出る町」

を印象づけるような、そんな町にしたい。

私たち中学生も授業の一つとしてボランティア活動に取り組み、地域の人々と触れ合い、町民全体でこの問題を考えたい。大人だけで考えないで、私たちにも声をかけてほしい。少しでも何かの力になればいい。気がする。東由利の未来を任されている私たちはもっと真剣に

## 3A ふるさと 私達の東由利

今から五十年前の昭和三十年に東由利村が誕生し、その十九年後の昭和四十九年に東由利町となりました。そして、三月二十二日には由利本荘市となります。私たちは東由利町の平成一期生として生まれました。この十五年間過ごしてきた東由利町が無くなってしまつのは、とても悲しい気がします。

東由利の人口は減少し続け、近年ついに五千人を切つてしまい、過疎化に歯止めがかかりません。さらに、少年高齢化が進んでいます。けれども、町の活性化のために必要な人が他の町や県などに出て行ってしまいます。それを防ぐためには、町に職場を作ったり、本

取り組んで、少年高齢化問題を少しでも解決へと導き、良い未来を築いていきたいと思う。

東由利地区の将来推計人口は、来年の二〇〇五年には四千四百七十人。一年間で約三百人減ることになる。また、五年後の二〇一〇年には四千五十五人。五年間で約四百人減っている。四百人という、町内の小中学校すべてが無くなってしま

効だと思えます。

しかし、由利本荘市になつても、これまで以上に東由利の自然は大切にしなければなりません。ゴミを減らすためにリサイクルをすることによってさらにゴミを減らすことができると思います。東由利町では、「ふれっそ」でも肉などを入れているパックを集めているし、町では少しづつリサイクル運動をするなど自然を大切にしています。

その他、東由利の自然環境を守るためには、もっと木を植え空気をきれいにしたり、各地区で行っている道路周辺のゴミ拾いなどを継続することも有効だと思います。

自然を大切にすることは、

うことになる。二十年後の二〇三〇年、私たちが三十代半ばの働き盛りを迎える頃、東由利地区の人口は今の半分になつてしまつ。

人口が減らないためには、楽しい行事やイベントを作らなければならぬ。私たちの故郷東由利町はこれからも魅力ある地域として栄えてほしいと思う。

町を愛することにつながります。大切なのは町民一人ひとりの心がけ。各学級の窓から見える美しい木々や緑を一生大切にし、ふるさと東由利をもっと美しくしてもらいたいです。

東由利の合併まで残りわずかとなり少し悲しい気がしますが、合併しても「合併して良かった」となれば最高だと思います。これからのいろいろな問題が出てくると思いますが、解決してもらいたいです。東由利の長い歴史を大切にしたいです。

ありがとう  
東由利・・・  
そして  
新たに  
生まれ変わる・・・

# ひがしゆい雪まつりツアー

## Part1 雪ものがたり 2005



「なまはげ郷神楽」の皆さんによるなまはげ太鼓

「ひがしゆい雪まつりツアー」が、二月十九日、二十日の「雪ものがたり2005」を皮切りにスタートしました。道の駅特設会場で行われた「雪ものがたり2005」には、二日間で約四千人が来場。雪上火火やスノーモービル体験会などのほか、なまはげ太鼓の公演など新しいイベントも行われ、まつり客を楽しませました。

また、二十七日に東由利野球場で開催された「2005雪上野球W杯東由利大会」には町内外から十六チーム出場。「ASカガブくん」(秋田市)が、初出場で見事優勝を果たしました。同ツアーでは、今後三月六日に「早春やしお元氣まつり」、三月十三日に「雪山八塩登山」が行われる予定です。



雪像は子どもたちに大人気



餅まきに群がる人々



お楽しみ抽選会

## Part2 2005雪上野球 W杯東由利大会



豪快なヘッドスライディング



町内外から16チームが参加



かも汁で体を温める参加者

## 同郷の反とバス旅行

東京東由利会



喜多院で記念撮影

町出身者同士の交流を深めようと東京東由利会が毎年行っているバス旅行が、昨年十一月十四日に行われました。今回の行き先は、江戸の面影を今に残す埼玉県川越市。参加した会員四十人は、時の鐘や歴史ある蔵造りの町並み、喜多院などの散策を楽しみました。

また、バスの中では参加者が持ち寄った田舎料理や思い出話が宴会を盛り上げました。

## 畑山さん優秀賞を受賞

平成16年度秋田県林業技術交換研修会

畑山作喜さん（土場沢）が、見事優秀賞に選ばれました。

このたびの賞は、畑山さんが紹介した、良質な秋田スギを育成するために行っている同研究会の活動内容が高く評価されたものです。

畑山さんは、「地道な活動を評価してもらえて嬉しく思う。この受賞をきっかけに、若い人たちにも山の魅力をアピールできれば」と話していました。

今回優秀賞を受賞した畑山さんは、九月に行われる東北・北海道大会に県の代表として出場する予定です。



優秀賞を受賞した畑山作喜さん

県内林業研究会の活動を発表し合う場として毎年開催されている「秋田県林業技術交換研修会」が、一月三日、四日に行われ、本荘由利森林組合林業研究会の代表として活動発表を行った

## 笑いで寒さ吹き飛ばす

蔵分館冬まつりっこ



阿部十全さんの公演

地域の輪を深めようと毎年行われている蔵分館の「冬まつりっこ」が二月六日、大蔵館で行われ、家族連れなど約二百人にぎわいました。

今年は、地域住民による工芸品展示コーナーや餅つき大会、風揚げなどのさまざまなイベントが行われたほか、笑いで寒さを吹き飛ばそうと、テレビやラジオでおなじみの阿部十全さんの公演会を開催。

まつりに訪れた人たちは、楽しい冬のひとときを楽しみました。

## 金子さん、小松さん新たに

農家の家族経営協定

農家の「家族経営協定合同調印式」が二月二十四日、本荘市の本荘グランドホテルで行われ、本町の金子拓雄さん（新町）、小松正武さん（高戸屋）両親子が家族経営協定を結びました。

この協定は、農業を営む家族がお互いの役割分担や責任を明確にし、それぞれの意欲と能力を十分に発揮できる環境づくりを目的としています。

本町で家族経営協定を結んだのは、これで四家族となりました。



家族経営協定合同調印式



# 合併後の介護保険に 関するお知らせ

3月22日以降は、本荘由利広域市町村圏組合で由利本荘市、仁賀保町、金浦町、象潟町の1市3町の介護保険事業を運営します。

平成17年度の介護保険料基準額は、これまでと変わりません。ただし、保険料は毎年の世帯の住民税課税状況等によって変わりますので、平成16年度と比べて状況が変更になったときは、金額変更となる場合があります。7月に保険料額の決定通知が届きますので、ご確認ください。

要介護認定申請書等の受付や被保険者証等の交付、納付書等の再発行等は、お近くの総合支所にて行うことができます。

被保険者証の一斉交付は行いませんので、これまで発行している被保険者証をお使いください。紛失・汚れなどの場合には、総合支所に再発行の申請をしてください。



問い合わせ 町民福祉課福祉係 69 - 2118



## 4月からは 新口座振替制度を ご利用ください

### 年金日より

1年前納すると3,420円の割引 納付書による現金払いでは2,890円の割引ですが、口座振替にするとさらに530円お得。

早割制度ができました 次月末に振込される月々の保険料を当月末の口座振替に申出変更すると毎月の保険料が40円割り引かれます。

6カ月前納で年間1,860円の割引 4月から9月分までを4月末日に、10月から3月分までを10月末日に、それぞれ口座振替で6カ月前納すると年間で1,860円の割引(4月末日・10月末日に930円ずつの割引)となります。

新たに口座振替を申込みされる方は、「国民年金保険料口座振替納付申出書」に必要事項を記入し、ご利用の金融機関等の証明印及び届出印を押印のうえ、最寄りの社会保険事務所か金融機関等へ提出してください。手数料無料です。

問い合わせ 町民福祉課年金担当 69 - 2117

## ほけんしのコラム

# いきいき健康教室

## カルシウムで骨を丈夫に！

骨粗鬆症は、骨の組織が粗くなり、鬆が入ったようにスカスカの状態になる病気で、ささいな動作で骨折を引き起こし、寝たきりを招くこともあります。骨粗鬆症は65歳以上の女性に多く、発症頻度は50%といわれています。「腰が痛くて重苦しい」などの症状を訴えるようになったら要注意。じわじわと骨がつぶれていくことも、この病気の恐いところ。

高齢になっても丈夫な骨を維持し、自分らしく元気に暮らすためには、カルシウムを摂ることが大切です。牛乳や小魚、ひじきなどを食事の中で上手に取り入れ、またカルシウムの消化吸収を妨げる喫煙や飲酒、過激なダイエットなどをしないように心がけましょう。

林業  
だより  
平成十五年の  
木材需給状況

平成十五年の木材総需要量は、八千八百八十六万八千立方で前年に比べて八十九万四千立方減少しています。木材総需要量の九八%が製材用材やパルプ、チップ用材等です。残りほしいだけ原木や薪炭材となっています。

製材用材の需要量は、昭和四十八年をピークに一時減少したものの平成元年以降、一億一千立方程度の水準で推移。しかし、平成十年以降は九千万から一億立方程度の水準に低下し

二月家畜市場

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	29	303kg	554,400円	1,735円
雌	34	285kg	507,768円	1,708円
全体	63	293kg	529,233円	1,721円

最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	709,800円	平茂勝	北国7の8	高栄
雌	695,100円	平茂勝	北国7の8	益美

木材共販市況

(平成十七年二月・平均価格)  
四十五年生、五十五年生

径級	単価(石)	備考
直材36cm上		
24~34cm	3,483~3,569	
14~22cm	3,053~3,250	
13cm下		
曲り材		

地元勢による抜き買いで落札率31%と低調。単価はますます。

ました。平成十三年以降になると住宅着工数の減少に伴い製材用材消費量の減少とパルプ、チップ用材が必要減少したことから用材消費量の減少は顕著になっています。

平成十四年には、用材消費量は九千万立方を下回る水準となり、平成十五年には、八千七百十八万四千立方となっています。

なお、我が国の用材自給率は長期的に低下傾向が続いていますが、平成十五年には用材の輸入減少からわずかながら増加して一八・五%となりました。(町林業懇話会長 佐藤恒悦氏)

平成17年度由利本荘市奨学生募集

- 応募資格**  
高校、大学(短大・専修学校を含む)に入学(在学)する者
- 応募条件**  
身体強健、品行方正、成績優良な者  
在学学校長が推薦した者  
学資金に困難な者
- 募集人員** 9人程度(東由利地区)
- 貸与条件**  
奨学金の額 高校 月2万円以内  
大学等 月5万円以内  
貸与期間 学校の正規の修学年限  
奨学金の交付 6月以降毎月交付
- 償還期間・方法**  
卒業後1年間据置き、10年で償還
- 申請等**  
受付期間 平成17年3月22日~4月8日  
受付場所 東由利教育事務所(東由利総合支所内)  
受付時間 午前9時~午後5時
- 提出書類**  
戸籍抄本 奨学金貸与願 学校長の推薦書 学業成績証明書 家族調査票 所得証明書
- 採用通知**  
5月下旬まで申請者全員に採用の可否を通知します。  
学校からの書類に時間がかかる場合がありますので、早めに申請手続きをしてください。

お問い合わせ 教育文化課 69-2310

おとなり情報

~本荘由利の催物などを紹介します~

由利町から

由利町発足50周年記念「中国雑伎団公演」

とき... 3月6日(日) 13:30開演  
ところ... 由利小学校体育館  
内容... 中国が世界に誇るエンターテインメント。華麗なる演技をお楽しみください!  
入場料... 無料  
由利町教育委員会 53-2245

仁賀保町から

実験教室「飛ばそう...！」

とき... ストロー飛行機 3月12日(土)、20日(日)  
ブーメラン 3月21日(月)、26日(土)、27日(日)  
紙コプター 3月28日(土)~31日(日)  
時間は 10:00~11:30 13:30~15:00  
ところ... フェライト子ども科学館  
参加料... 無料(入館料無料)  
フェライト子ども科学館 32-3150

よね 天才米ちゃんの科学教室

とき... 3月19日(土)  
ところ... 町総合福祉交流センター「スマイル」  
内容... 講師に米村でんじろう先生(サイエンスプロデューサー)をお招きします。  
フェライト子ども科学館 32-3150

# 栄誉と功労を讃える

## 平成十六年度東由利町スポーツ賞・芸術文化賞表彰式

二月二十六日、有郷館でスポーツ賞・芸術文化賞の表彰式が行われ、多年に亘る功績や、平成十六年度の活躍を讃え、三十二個人と五団体が表彰されました。



スポーツ賞・芸術文化賞に輝いた受賞者の皆さん

この両賞はスポーツ部門、芸術文化部門で功績があった個人団体を称えようと毎年行われているものです。

本年度は、スポーツ賞で二十一人人と五団体、芸術文化賞で十一個人が各団体会長から表彰されました。

表彰後、阿部弘章体育協会会長と遠藤眞吉芸術文化協会会長があいさつ。来賓祝辞の後、受賞者を代表して東中二年の佐藤大河さん（律沢）が、指導者への感謝の気持ちと今後の更なる抱負を述べました。

東由利町としての表彰式は今回が最後となりますが、町民の方々のなお一層の活躍を期待したいと思います。



受賞者代表あいさつを行う佐藤大河さん

### スポーツ賞受賞者（敬称略）

- スポーツ賞・個人の部
- 佐々木将人（大琴・高瀬小学校）
- 秋田県スポーツ少年団種目別交流会スキー競技小学校六年男子大回転第三位
- 第二十一回矢島スキー場エランカップGSLスキー大会小学校六年男子第四位
- 佐々木亜美（大琴・高瀬小学校）
- 秋田県スポーツ少年団種目別交流会スキー競技小学校六年女子大回転第一位
- 第二十一回矢島スキー場エランカップGSLスキー大会小学校六年女子第一位
- 佐藤大河（律沢・東由利中学校）
- 秋田県スポーツ少年団種目別交流会スキー競技中学校二年男子大回転第一位
- 第二十一回矢島スキー場エランカップGSLスキー大会中学校二年男子第一位
- 長沼将馬（新町・東由利中学校）
- 本庄市由利郡中学校スキー大会男子大回転第一位
- 本庄市由利郡中学校スキー大会男子回転第一位
- 古関亮子（松柴・由利高等学校）
- 全国高等学校総合体育大会ボート競技女子ダブルスカル準々決勝進出
- 全国高等学校選抜ボート大会女子シングルスカル準決勝進出
- 長沼敬晴（新町・湯沢商工高等学校）
- 秋田県高等学校総合体育大会スキー大会男子大回転第三位
- 県民体育大会スキー競技会スパーG第一位
- 県民体育大会スキー競技会大回転少年（国民体育大会予選）第二位
- 県民体育大会スキー競技会男子回転第三位
- 鈴木翔子（沼・横手城南高等学校）
- 秋田県高等学校総合体育大会スキー大会女子回転第六位
- 高橋将也（館合新田・鷹巣農林高等学校）
- 秋田県高等学校総合体育大会スキー大会男子大回転第二位
- 県民体育大会スキー競技会大回転少年（国民体育大会予選）第四位
- 佐藤 忍（時雨山・本荘高等学校）
- 東北高等学校選抜ボート大会女子舵手付きクオドルブル第一位
- 小松裕太郎（中通・本荘高等学校）
- 東北高等学校選抜ボート大会男子舵手付きクオドルブル第一位
- 東北総合体育大会ボート競技少年男子舵手付きクオドルブル第二位
- 小松沙裕理（高戸屋・西目高等学校）
- 秋田県高等学校総合体育大会テニス競技女子団体第三位
- 高橋佑光（久保・秋田工業高等学校）
- 全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技第三位
- 佐野 瞳（館合新田・由利高等学校）
- 秋田県高等学校新人大会ソフトボール選抜第一位
- 全国高等学校ソフトボール選抜大会西東北地区予選会第一位
- 千葉里菜（蔵新田・由利高等学校）
- 秋田県高等学校新人大会ソフトボール選抜第一位
- 全国高等学校ソフトボール選抜大会西東北地区予選会第一位
- 小野徳昭（上里・秋田経済法科大学）
- 秋田県陸上競技選手権大会やり投げ第一位
- 東北学生陸上競技対抗選手権大会やり投げ第一位
- 東北総合体育大会陸上選手権大会やり投げ第二位
- 佐藤安照（下通）
- 秋田県パークゴルフ協会連合会交流大会「鶴舞カップ」第一位
- 鞆崎芳造（家ノ下）
- 第二回秋田県パークゴルフ交流大会
- 第一位
- 小野廣志（横渡）
- 秋田県パークゴルフ協会連合会交流大会「八塩カップ」第一位
- 浅井 充（蔵新田）
- 秋田県青年大会 軟式野球の部優勝
- 全国青年大会軟式野球の部ベスト四
- スポーツ賞・団体の部
- 東由利中学校スキー部
- 本庄市由利郡中学校スキー大会男子総合優勝
- 東由利JAYZ
- 東日本軟式野球大会（二部）由利郡予選優勝
- 東日本軟式野球大会（二部）県予選ベスト四
- ゲートボール太陽チーム
- 秋田県選抜ゲートボール大会優勝
- ゲートボール東由利チーム
- 秋田県ゲートボール選手権大会アクラス優勝
- スポーツ功労賞
- 石綿喜代隆（大琴）
- 東由利スキークラブ会長、東由利町スキースポーツ少年団の指導者として、本町スキーの振興と、競技技術向上に尽力されている。



スポーツ功労賞を受賞した石綿喜代隆さん

大庭喜一郎（舟木）  
東由利町体育指導委員長。長年にわたり体育指導委員として、生涯スポーツによる町民の健康増進及び各種スポーツ振興に尽力されている。



合併について活発な質疑応答が行われた

今年度のことぶき大学閉講式が二月十六日、有鄰館で行われ、大学生百八人が参加しました。午前の部では、今年度の反省、来年度の要望等の意見交換会に続き、阿部幸悦町長を招いた講演会では祝辞とあわせて、合併についての詳しい話があり、受講者からの質疑応答が行われました。来年度の活動にもさらに期待がかかります。

### 新市に向け意見交換を行う

ことぶき大学

## 2月 公民館行事から



思い出のつまった記念誌を作成

一年間の活動を綴った記念誌の作成を行った後、今年度で卒業する六年生に公民館長から修了証書と記念品の授与が行われました。本年度のわくわくサークルは十五教室、年間二十回開催され児童、保護者等延べ九百四十二人がボランティア、料理、クラフト、陶芸等に挑戦し充実した活動を行いました。

### 一年間の思い出を綴る

わくわくサークル

二月五日、有鄰館でわくわくサークルの修了式が行われ、会員、保護者合わせて五十八人が出席しました。



絵本読み聞かせのボランティアに聞き入る

二月二十二日、有鄰館集会所で、第六回「きざくら広場」が開催され、町内乳幼児、保護者、保育園児等約四十名が参加して、絵本の読み聞かせやピアノの演奏、歌等を楽しみました。「きざくら広場」は地域全体で子育てをしていく環境づくりを目標に、子育てサポーターが主催して行っている活動です。「きざくら広場」、サポーターに関するお問い合わせは、教育委員会生涯学習係まで  
電話 六九 一三三〇

### 子育て 応援します

きざくら広場



芸術文化特別賞を受賞した小松順之助さん

### 芸術文化賞受賞者(敬称略)

芸術文化特別賞  
小松順之助(中通)

スポーツ特別賞  
東由利中学校野球部  
二十一年ぶりの全県少年野球大会出場を果たされ、ひたむきに頑張る姿は町民に大きな感動を与えた。

平成四年度から平成十五年度まで十二年間に亘り、町芸術文化協会会長を務められ、芸術文化の普及と発展に尽くされた  
芸術文化功労賞  
小松幸子(中通)  
【工藝部門】  
第四十六回秋田県美術展覧会工藝の部入選  
生涯学習をおし町民や子供達に陶芸の楽しさと創作の喜びを伝えられた。  
藤原陽太郎(上通)  
【写真部門】  
第四十六回秋田県美術展覧会写真の部奨励賞  
写真サークル代表として会員の融和と技術向上に尽力された。  
芸術文化奨励賞  
菊地邦彦(宇戸坂出身)  
【彫刻部門】  
第四十六回秋田県美術展覧会彫刻の

部奨励賞

八嶋 保(上通)

【写真部門】

第四十六回秋田県美術展覧会写真の部入選

千葉 覺(新町)

【写真部門】

第四十六回秋田県美術展覧会写真の部入選

佐藤 恵(黒淵・由利高等学校)

大日向愛(宮ノ前・由利高等学校)

佐藤米美(松柴・由利高等学校)

高橋みなみ(館合新田・由利高等学校)

阿部愛美(小倉・由利高等学校)

【芸能部門】

第十六回津軽三味線全日本金木大会三位

高校文化連盟郷土芸能・日本音楽合同コンクール最優秀賞

## 情報ボックス

第十四回東由利町バスケットボール大会が開催されます

冬期間の体力向上、選手間の交流を図りましょう  
期日 平成十七年三月二十日  
場所 東由利町体育館

対象 町内に在住する者(小学生以上)又は町内に勤務する者

参加料 一チーム 二万円

申込み期限 三月十四日

教育委員会

電話 六九 一三三〇

FAX 六九 二〇三九

# ふるさと 九三 むかしむかし

## 米福と栗福

むかしむかし、あるところに米福と栗福という姉妹がいました。米福の母親は亡くなり、父親が栗福を連れ子にした後ぞえを迎えたのでした。後ぞえは連れ子の栗福ばかり可愛がり、栗福も姉の米福を恨み、なんとかして家から追い出したいと考えているのでした。米福はどんなにいじめられてもニコニコしています。

ある日のこと、後ぞえが米福と栗福に「山に栗拾いに行つてこい」と言いつけ、米福には底に穴の開いた袋を、栗福には新しい袋を持たせてやるのでした。しばらく山の栗拾いをしていた二人でしたが、妹の栗福は「姉や、おらあ袋さいっぱい拾つたから帰るよ」と言つて山を下り家に帰つてしまいました。米福の底抜けの袋はいくら拾つてもいっぱいになりません。

やがて日も暮れて暗くなってきました。米福は泣きだしそうになりました。すると、不思議なことに林の奥に、ひとときも忘れることのない亡くなった母親が心配そうに立っているのです。母親は

「米福や、どんなことがあつても辛抱が大事だぞ。よい物をあげるから、家に帰つたら台所の板の間にこれを転がしてみるといい」と言つて、一粒の大きな栗の実を渡してくれました。涙顔の米福がお礼をと思つたら、母親はすつと姿を消してしまいました。

家に帰つた米福を叱る後ぞえの母親は、「今頃まで山で何をしてくたつ。一粒の栗も拾つてこないでつ」米福は火箸でたたかれそうになつたそのとき、亡くなった母親からもらった大きな栗の実を板の間に転がしました。すると、なんと栗は台所いっぱいになつたのです。驚いた後ぞえでしたが、それでも姉の米福をこゝろにいじめ続けるのでした。

またある日のこと、辛抱強く、優しい心の米福の評判を聞いた長者殿に、ぜひ息子のお嫁に米福

をと願われたのです。びっくりした後ぞえの母親は、「姉はみにくいし急げ者です。それより器量が良く、仕事も上手な妹の栗福を嫁にもらつてください」と願つたのでした。しかし、長者殿の目は節穴ではありません。米福は辛抱のいいあつて、村のみんなに見送られお嫁になっていきました。

(石渡力造)



## 季節を詠む

(せせらぎ會)

着ぶくれて貰ふ雪かき当番帳	久保 高橋 典三
等圧線せばめつ寒波居座れり	横小路 宮野 源二郎
ひざに来る孫の温もり寒来たり	小倉 遠藤 トミ子
深雪なれ狭庭に鳥の来るほどに	秋田市 嵯峨 義之
縫い初めの針目揃わず暮れにけり	蔵新田 小笠原 トミ
雪掻きにドリンク一本助け舟	山崎 小松 良子
着信の身体案じる雪見舞い	横小路 小松 丈介
嬰詰児のねむる山家や吹雪花	上通 小松 メサ
熱冷まし寒九の水で飲みにけり	高戸屋 小松 敏雄
園児らの面の色どり鬼やらい	蔵新田 小笠原 亮子
マジックのように夜空の牡丹雪	中通 小松 順之助
春立てり母の座空きて五十日	新町 寅田 敏雄
雪だるま個性のありて三姉妹	五海保 嶽石 レイ
吹雪く夜テレビの歌に癒される	時雨山 吉川 葉子
生きぬいて春立つ庭で深呼吸	上里 小野 石路子
吹雪中今日は火曜か水曜か	舟木 大庭 喜右衛門
二月雪重しと除く軒回り	舟打場 高橋 民治郎

# ちびっこの大集合

元気にすくすく育ってま〜す

～3歳児健診から～

むし歯のなかった子  
にはマークがつ  
いています



小松 ライクくん  
田代（茂明さん）



えいみ  
遠藤 瑛美ちゃん  
宿（育英さん）



かずき  
小松 和生くん  
新町（晃さん）



しょうた  
齋藤 翔太くん  
寺田（義勝さん）



よし  
遠藤 義佳くん  
蔵新田（克幸さん）



ねいろ  
佐々木 音色ちゃん  
新町（雅史さん）



ゆいと  
大庭 唯都くん  
新町（真悟さん）



そなた  
阿部 颯汰くん  
新町（樹悦さん）



れな  
遠藤 礼菜ちゃん  
祝沢（貴浩さん）

## 感謝



石渡 力造

ほのぼのしたものがよぎってくれ  
ばと、拙い「昔話」が載ったのは、昭  
和五十九年五月と記憶しています。この  
たび、新市発足に伴い終刊となりますが、  
よもやこんなに長く続くとは夢にも思  
いませんでした。長い間のご愛読に深く感

謝申し上げます。なお、語りとして活用  
なさっていることを耳にし、望外の喜  
びであります。「こつこつ話ったな久  
しぶりだ。良く聞けたあ」採話で訪ね  
た爺さまや婆さまはもう故人になっ  
ています。恵まれた多くの出会いと支えの温  
もりは、すべてを包んでくれました。ま  
た、「愛読下さった多くの内外の皆さん  
からお寄せいただいた皆さんの感想や  
励ましのお便り、本当にありがとござ  
いました。これからも皆さんの支えを大  
事にしながら、昔話を生涯のライフワ  
ークとして精進したいと思っています。

## アイドルをさがせ!

荘野 壱成くん  
(下小路・1歳)  
お父さん: 康成さん  
お母さん: 志津子さん  
お話し: 志津子さん

名前の由来は?  
「何でも一番になるようにと思われがちですが、そうではなく、何でも最後まで成し遂げる強い精神を持った子になるようにという願いを込めてつけました。」  
好きなものは?  
「動物(特に猫)が好きで、絵本や動物図鑑を見ている」  
最近のエピソードは?  
「2月20日の誕生日に湯楽里でお祝いをしていたら、なまはげが乱入してきて固まっていた。泣きそうになったけど、泣きませんでした」  
どんなふう to 育ってほしいですか?  
「健康で他人を思いやる心を持った優しい子、人を愛することができ誰からも愛される子になってほしいです」  
お父さんとお母さんから、壱成くんへひとこと  
「あと数カ月で早くもお兄ちゃんになるけど、助け合いができる仲の良い兄弟でいてね」

## YGカンパニー ジェネレーション

遠藤 裕子さん(蔵新田・20歳)

職業は  
「リカーショップさいとう」で働いています。  
趣味・休日の過ごし方は  
休日は友だちと買い物に行くことが多いです。よく行くのは横手市です。  
自分の性格は  
周りの人たちは落ち着いていると言ってくれます。でも自分ではよく分かりませんね。  
理想のタイプは  
優しく楽しい人。外見の好みはあまりないです。  
目標・夢は  
エステティシヤンの資格をとったので、それを活かした仕事に就きたいです。  
家族へ一言  
今までいろいろ迷惑をかけたけど、これからは自立した大人になれるように頑張ります。

# データ東由利

## 住民基本台帳

	1月末人口	前月比
男(人)	2,282	- 5
女(人)	2,444	- 5
計(人)	4,726	- 10
世帯数(戸)	1,370	2

	1月異動人数	1月からの累計
出生(人)	2	2
死亡(人)	5	5
転入(人)	3	3
転出(人)	10	10

## 消防・交通

	1月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	0
救急出動(件)	15	15
交通事故(件)	14	14
死亡(人)	0	0
傷者(人)	4	4
飲酒運転(件)	0	0
酒気帯び(件)	1	1

## 3月の行事

- 6日 早春やしお元気まつり
- 8日 機能訓練教室
- 9日 乳児健診  
食生活改善講習会
- 12日 東由利中卒業式
- 13日 雪山八塩登山
- 15日 高瀬小卒業式
- 16日 八塩小卒業式
- 18日 閉庁式  
小中学校修了式
- 20日 春分の日
- 21日 振替休日
- 22日 由利本荘市発足



## 東由利

### 郷土の野草

### 終刊にあたって

昭和五十九年三月、広報「ひがしゆり」に掲載させていただいてから平成十七年二月まで、ちょうど満二十年、二百四十号を数えることになりました。

今回、一市七町の合併によって「由利本荘市」になるのを機会に、二月号(最終号)をもって終刊させていただきました。この間、全町の皆様をはじめ、全国の本町ご出身の皆様、全国の未知の方からも数多くの温かいご感想、励まし、ご指導をいただき感謝に堪えません。

まだまだ数多くの野草がございますが、折をみて余生の仕事としてまとめてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

長い間のご愛読、心から厚くお礼を申し上げます。終刊のごあいさつといたします。ありがとうございました。

平成十七年二月

小松 忠正

## 戸籍の窓口

お誕生おめでとう

(1月21日～2月20日届出)

- 1/22 佐野 由依ちゃん 健一 新町
- 1/25 小松 頼人くん 和弘 下小路
- 2/8 遠藤 来良くん 克幸 蔵新田

ごめい福をお祈りいたします

- 2/5 鈴木キクヨさん(86) 幸男・沼
- 2/5 小野 京子さん(75) 裕明・宿
- 2/8 小野 徳さん(80) 正義・下通
- 2/10 古関千代子さん(75) 三郎・妻・柴
- 2/12 遠藤 吉藏さん(88) 春雄・父・新
- 2/16 畠山アイ子さん(80) 紀子・母・横
- 2/18 鈴木サトミさん(95) キエ・母・袖山

広報への掲載を希望しない方は届出の際にお知らせください。

## 特産物振興会で新商品開発

### 食べてねらんらんパン!



町特産物振興会で、このたびフランス鴨の卵を使った手作りパンを販売することになりました。名前は「フランス鴨らんらんパン」。朝食に食べたくなるシンプルな味わいが好評です。直売所や各種イベントの出店で販売する予定です。東由利の新しい特産品を、皆さんもどうぞお試しください。

お礼 (1月21日～2月20日)

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。

海老原昭子さん(横浜市)、黒澤共助さん(秩父市)、石井護さん(本荘市)、高須広子さん(草加市)、石井辰徳さん(秋田市)、佐藤力雄さん(本荘市)、畠山栄子さん(秋田市)

社会福祉協議会に次の方からご芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。

大場惣七さん(久保)、小松仁さん(所沢市)、鈴木幸男さん(沼)、長谷山フサ子さん(横浜市)、木嶋成寿さん(岩館)、東由利麻雀愛好会



## ほっといいき

合併という町の節目に、一町民として、また広報担当として立ち会えることを幸運に思います。二年間私を支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。これまで私に元気をくれた多くの出会いは、この先もずっと私の支えになっていくものです。これからは自分自身も誰かに元気をあげられる人になりたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願いします。(晃)